

# S M C 金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain S M C 豊島 健治

## 3月の金融・マーケット動向

### 短期市場、静かに揺れる

今月19日に実施された政府短期証券(FB=政府が短期的な資金を調達する時に発行する証券)の入札で、入札予定3兆円に対し金融機関から何と2,028兆円の巨額応札があり話題となった。平均落札金利は0.0015%(100億円を3ヶ月運用して37,500円の金利収入)にも拘わらず、この膨大な額の応札は何を意味しているのだろうか。

今、短期金融市場がペイオフ解禁で揺れている。揺れる理由は二つある。一つは、短期市場で運用するロットの大きな資金もペイオフ解禁を機に全額保護対象から外れることから起こる。100億円を翌日物で運用しても利息はたった273円。これでは資金調達金融機関の破綻リスクを犯してまで運用する意欲が湧かなくなる。もう一つは、銀行で定期預金が減り普通預金が急増していることからやってくる。普通預金はいつ払い出されるか判らず、銀行の資金繰りの変動が激しくなる。それに伴い勢い銀行も手元資金を厚く確保しようとする。だから取り敢えず安全でしかも短期で運用できるFBに走ったのだ。

昨日の日銀当座預金には27兆円もの資金が金利も付かずに寝ている。4月1日から普通預金金利を0.001%(100万円1年で10円)に下げる資金ジャブジャブ銀行がある一方、資金調達に苦慮している銀行もある。金融の量的緩和も政府の思惑通りには運ばないのが現実だ。

### 商品市況の上昇

世界の商品市況がじわじわ上昇している。代表的2指数のこの1年の動きを表にしてみた。

時点	C R B 指数	日経商品指数
2001.3.30	210.26	58.055
2001.6.29	204.64	56.845
2001.9.28	190.49	54.647
2001.12.31	190.61	50.262
2002.3.28	205.28	57.835

この表から、最悪期を脱して循環的景気回復軌道に乗り始めた可能性が微かに読み取れる。若しそうだとすれば、この期間に思いきった問題処理を進めることが日本に求められるだろう。

### 破綻申請は銀行から

今月、東京地裁が注目の判決を下した。不動産

担保融資業大手のファースト・クレジット社(以下FC社)に対して会社更正手続きの開始決定を下したのだ。

この判決が注目された理由は、債権者である銀行(本件は新生銀行)が申し立てた、FC社は決算上債務超過会社ではなかった、の2点にある。従来、銀行は、債権者として法的整理の申請を申立てることは出来たが実際は行ってこなかった。ここに風穴が開けられた。又、裁判所が事業用資産を時価評価しFC社を実質債務超過と判断した。これは会計の信憑性が崩壊していることを司法が認めたことを意味する。

これから銀行は、この判例をちらつかせて「云うことを聞かない企業」に圧力をかけてくるかもしれない。事実を知っておいて欲しい。

### 未だ「公示地価」

25日国土交通省が例年通り公示地価を発表した。公示された地価に「下げ止まらない」等と尤もらしく論評する向きもあるが、問題は公示地価そのものに最早意味がなくなっているところにある。恐らく、というか多分というか、固定資産税評価額と連動している公示地価は「政策上下げたくない価格」の代表ではないか。自治体の重要な財源である固定資産税収急減につながることを行政自らできない。こうした公示地価に何の意味があるのだろうか。

### ブリッジ・バンク設立

今月「日本承継銀行」という名の預金保険機構全額出資の銀行が設立された。この銀行は、破綻した金融機関の預金や貸出金を引受金融機関が見つかるまでの間「暫定的」に引継ぐ銀行で、一般にブリッジ・バンクと呼ばれている。

ペイオフ一部解禁を前に不安を抑える目的があったと思われるが、取り敢えずは既に破綻して宙に浮いている石川銀行と中部銀行の受け皿銀行となる。この承継銀行がその設立目的を達成しないで済むことを祈るばかりだ。

### 自己資本増強、職員拡充

生保各社が低下した信用力を高めるために相次いで自己資本増強を図っている。そのこと自体歓迎されるが、資本を出すのが相変わらず親密銀行であったり、グループ企業であったりするのが気にかかる。その一方、保険の解約防止に専門職員の拡充を進めている。貴社にそうした職員が訪れる日も近いかもしれない。

Weekly Fax Report

2002.3.30(第302号)

《転載・複製等はこちらへご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/) Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)